



行政と町民の調和 (ハーモニー) 草津町議会だより Harmony



新しい議会がスタートしました

平成 31 年 4 月 21 日の町議会議員選挙で当選した議員による初めての議会が、令和元年 5 月 8 日に開かれました。

はじめに、議長、副議長選挙を行った結果、第 27 代議長に黒岩卓氏、第 25 代副議長に中澤広夫氏が選出され、就任しました。

また、各委員会等の構成についても決定されました。

よりよい町づくりに向け 12人が始動

新しい議会体制が決まりました

議長に黒岩 卓氏

副議長に中澤広夫氏を選出！

就任のご挨拶



議長
黒岩 卓



副議長
中澤 広夫

草津町議会議長の黒岩卓です。町民の皆様の意見が反映され、町民の意思で動く町政を実現させるため、各議員の活発な発言を引き出して参りたいと思います。町民の皆様にも理解しやすい議会とするように、議事整理をして参ります。皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い致します。

この度、草津町議会議副議長に就任させて頂きました中澤広夫です。まだ3期目と未熟ながらこの様な大役を仰せつかりまして不安な気持ちではあります。出来る限り全力を尽くして参りたいと思っております。町民の皆様のために、より視野を広げて諸問題に対応していきけるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

委員会構成表

常任委員会

総務 観光	◎	湯本晃久	本川祥一	久史
	○	宮崎卓子	岩井弘	一卓
		黒新祥尚	井井勝	岩井利
		安金勝	丸丸公	中澤雄
		宮中	崎崎文	後藤雄
民教 土木	◎	金丸康	丸丸太	勝弘
	○	中宮	澤公	勝弘
		後中	藤澤	文雄

特別委員会

議長 黒岩 卓
副議長 中澤 広夫
◎…委員長 ○…副委員長

温泉 水対策	◎	宮崎謹一	崎崎公雄
	○	宮崎中	崎崎久夫
		湯本晃	丸勝利
		金市	丸勝祥
		市川	川祥

常設委員会

議会 運営	◎	後藤雄弘	藤井尚一
	○	安宮公	井崎公
		宮崎	崎公
		湯本	丸勝
		金丸	丸勝

一部事務組合等の議会議員を選出しました。

○西吾妻衛生施設組合 議会議員

黒岩 卓
中澤 広夫
金丸 勝利

○西吾妻福祉病院組合 議会議員

黒岩 卓
中澤 広夫
金丸 勝利

○監査委員

宮崎 公雄

○広報委員会委員

市川 祥史
湯本 晃久
安井 尚弘
有坂 太宏

5月8日の臨時議会にて、正副議長選挙が投票により行われました。その結果、議長に黒岩 卓氏、副議長に中澤広夫氏がそれぞれ選出されました。

教育、社会福祉、保健衛生、医療、環境、土木、上下水道に関することを私たちが詳細審議します。



委員長
金丸 勝利
【2期】



Dr. Tetsuya Kuroki is a middle-aged man with grey hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

副委員長
中澤 広夫
【3期】



委員
宮崎 公雄
【8期】



Mr. Tetsuya Kato

委員
後藤 文雄
【4期】



Professor Tetsuo Kato is an elderly man with white hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and a red and blue patterned tie. He is smiling slightly.

委員
中澤 康治
【2期】



Dr. Y. Nakamura

委員
有坂 太宏
【1期】

町政一般、庶務、財政、産業経済、都市計画、観光、交通、姉妹都市交流などに関する事を私たちが詳細審議します。



Dr. Yoon is a professor of psychology at the University of North Carolina at Chapel Hill. He is also a senior research advisor at the Center for Communications Programs at the same university. Dr. Yoon has published numerous articles on the psychology of communication and has been a frequent speaker at international conferences.

委員長 湯本 晃久
【3期】



Dr. Yoon is a professor of the Department of Health, Behavior, and Society, and the director of the Center for Communications Programs at the Johns Hopkins University. He has been working in the field of adolescent reproductive health for over 20 years. He has led several large-scale research and programmatic efforts in this field, including the Adolescent Reproductive Health Program in Bangladesh, the Adolescent Reproductive Health Program in India, and the Adolescent Reproductive Health Program in Kenya. He has also been involved in the development and implementation of several national-level policies and programs related to adolescent reproductive health. Dr. Yoon is a frequent speaker at international conferences and has published numerous articles in the field of adolescent reproductive health.

副委員長
市川 祥史
【1期】



Dr. Shiro Kikuchi is a Professor of the Department of Chemistry at the University of Tokyo. He received his Ph.D. from the University of Tokyo in 1988 and worked as a postdoctoral fellow at the University of California, San Diego. He joined the University of Tokyo in 1990 and has been a Professor since 1998. His research interests are in the synthesis of novel organic compounds and the development of new synthetic methods.

委員
宮崎 謹一
【12期】



委員 黒岩 卓
【5期】



委員
新井 祥子
【2期】



Dr. Shiro Kikuchi

委員
安井 尚弘
【1期】

平成31年度（令和元年度） 一般会計 当初予算を議決

前年度対比
97.8%

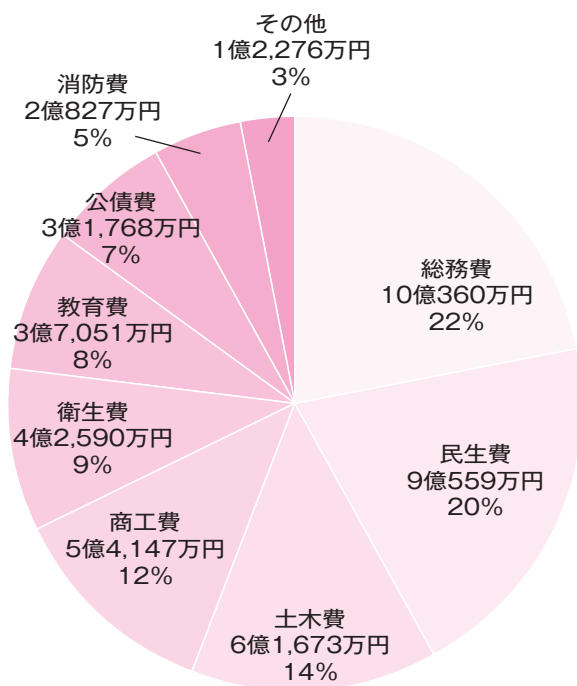
歳入・歳出
それぞれ

45億 1253万円

一般会計当初予算内訳

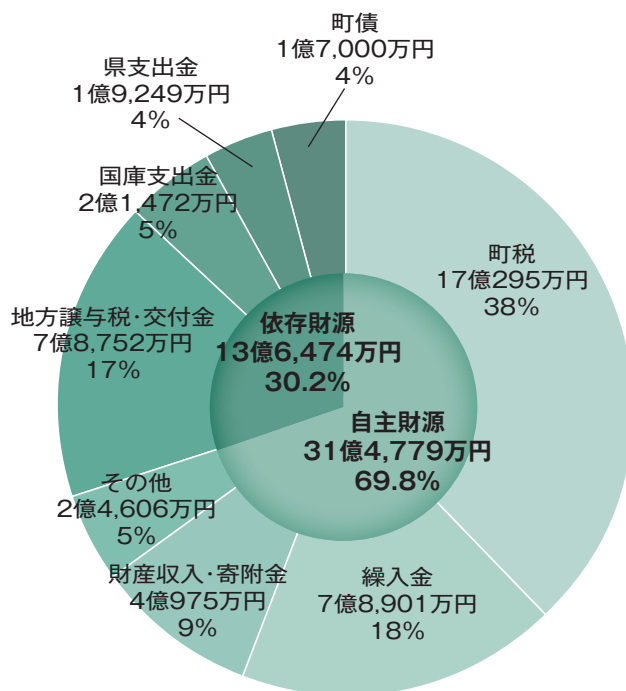
歳出

※その他・・・議会費・農林水産費・労働費
諸支出金・予備費

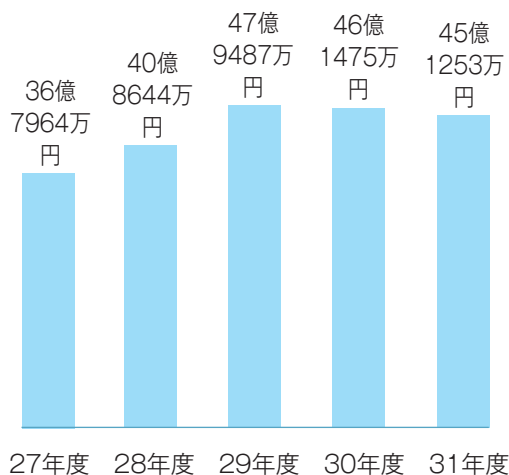


歳入

※その他・・・諸収入・使用料及び手数料
繰越金・分担金及び負担金



一般会計当初予算額 推移



**3年連続！
45億円を超える
予算となりました**

平成31年第1回定例会を3月4日（令和元年度）の当初予算について慎重に審議し、全会計が可決されました。

福祉・教育・道路事業など暮らしに直結する幅広い事業を行う一般会計では、過去2年に引き続き45億円を超える大型予算となりました。

9 会計総額では

前年度対比 101.0%

歳入・歳出それぞれ

76 億 2084 万円

議案番号	会計名	金額	構成比	付託委員会
第1号	一般会計	45 億 1,253 万円	59.2%	総務観光 / 民教土木常任委員会
第2号	国民健康保険特別会計	9 億 8,397 万円	12.9%	民教土木常任委員会
第3号	介護保険特別会計	5 億 4,347 万円	7.1%	民教土木常任委員会
第4号	後期高齢者医療特別会計	1 億 651 万円	1.4%	民教土木常任委員会
第5号	公共下水道事業特別会計	5 億 5,561 万円	7.3%	民教土木常任委員会
第6号	前口簡易水道事業特別会計	441 万円	0.1%	民教土木常任委員会
第7号	水道事業会計	2 億 1,794 万円	2.9%	民教土木常任委員会
第8号	温泉温水供給事業会計	4 億 2,800 万円	5.6%	温泉温水対策特別委員会
第9号	千客万来事業会計	2 億 6,836 万円	3.5%	災害総合対策特別委員会
全9会計 合計		76 億 2,084 万円	100.0%	

委員会・本会議での質疑等、
審議内容の詳細については
P 10～12 委員会審査・報告
P 14～16 議案質疑
のページをご覧ください！

**9 会計総額では
前年度より微増**

一般会計、5つの特別会計、3つの企業会計を合わせた全9会計の総額では、前年度より7799万円の増額となりました。公共下水道事業特別会計において、下水処理場の再構築事業の第1期工事が始まることで増額の主な要因です。

各会計の予算案は担当委員会において詳細に審議された後、委員会からの報告を踏まえて、最終日の本会議で審議・可決されました。

主要事業を紹介

【一般会計】地蔵地区再整備事業

1億8120万円

H29年度からの継続事業。今年度は地蔵広場の整備や、湯畑へと繋がる道路修景工事などが行われます。

【一般会計】道路関連整備事業

1億6588万円

融雪工事や既存道路の維持管理など。水道管等の管路更新工事と同時に行い、工事の期間や経費の効率化に努めながら進められます。

【公共下水道事業特別会計】

下水処理場再構築事業

3億4010万円

10年以上に及ぶ再構築計画。いよいよ新建設地の用地購入及び第1期工事に着手となります。

…その他にも子育て環境整備や福祉・観光関係などソフト面での施策も多く盛り込まれました。

平成31年度 予算総括質問



小林純一 議員

Q 町税の減収傾向が続くが、インフラ整備の今後は？

A 現時点で縮小は計画していない

Q 人口減少による税収減は今後も続く。「持続可能な街づくり」ということで、取捨選択が問われている。将来的に現状規模のインフラを維持していくのか？インフラを縮小していくのか？

町長 町民税は、人口減の他、景気等に左右される要因があり、景気回復基調については予算に反映出来ていない。決算時にはもう少し良い数字になると期待している。人口減少は

継続するかもしれないが、ある水準で維持されると考えている。人口減少で税収が減っても必要最低限の財源は地方交付税により確保される。危険度、重要性、利用頻度等を見極めてインフラ整備を行っている。将来の人口減少に対応するための施設の縮小は現時点では計画していない。下水処理場の再構築に関しては、将来の人口の減少、入込客数の予測等を考慮し、適正な施設規模で計画している。

Q 観光協会補助金、補助率の上限を定めては？

A 誘客に力を入れる時期。必要に応じて予算措置したい

Q 観光協会への補助金の精査と引き下げを検討して欲しいとの陳情があり、議会として採択したが、今年度は同額の計上となっていて。今年度および2020

年度は観光特需が見込まれる事もあり、積極的な宣伝は必要と思うが、2021年度以降については受益者負担となるよう、金額のみではなく、補助率という形で上限を決めるべきではないかと思うが、どうお考えか？

町長 プレD.C、D.C、アオリンピックをはさみ大型のキャンペーンが続く。大きな誘客の機会ととらえ、31年度予算としては、観光協会へ宣伝委託5460万円、誘客推進対策事業費2300万円、プレD.C宣伝事業費2000万円を計上し、業界団体と連携して宣伝事業を推進していきたい。団体への補助金については、補助率という形で上限を定めるべきとの考え方も、限られた財源の中では必要と思われるが、今後の3年間は集客のための絶好の機会としてとらえ、特に観光宣伝に力を入れるべき時期と認識している。それ以降についても、必要があると認められれば積極的に予算措置をしていきたい。

予算の執行については、業

界団体への支出であっても十分に精査し執行していく。

Q ふるさと納税使途、重点施策の計画は？

A 地蔵地区再整備に集中していく

Q 返礼率が3割に下げられたことでふるさと納税は減少している。地域振興にとって重要な財源だが、不安定な財源でもある。ふるさと納税の使途で、特に重点を置いている事業について計画及び見通しは？

町長 寄附者が使途を指定できることから、使途について議会に報告し、町のホームページにも掲載することで透明性を保っている。30年度は「本白根山噴火災害に対する復興支援」を追加した。使途として一番選ばれているのは「温泉、観光及び産業振興に関する事業」、次に「復興支援」の順となっているので、これに沿った形で事業を実施していく。ここ数年は主要事業として位置付けている

事業として位置付けている

道路整備関連事業と、湯畑や西の河原周辺整備を行った。31年度以降においては地蔵地区の再整備事業に財源を集中していく。また、給食費の完全無料化、高校生への就学援助や中学生の制服購入助成などについてもふるさと納税を財源として継続していく。



整備が進む地蔵地区 (完成イメージ)

Q 地蔵地区再整備に伴う安全対策への見解は？

A 十分注意しながら進めていく

Q 30年度より地蔵地区の再整備事業が始まった。通行車両とのすれ違いや歩行者とのクリアランスが狭く、危険を感じることもある。完成までの見通しと安全対策について、町としての見解は？

町長

30年度に地蔵源泉の屋根新築工事が完了、31年度は、高台広場へ通じる連絡階段の設置工事と高台広場の土地造成工事、頼朝から旧一田屋旅館に抜ける道路及び階段の修景工事、三関屋裏の三角地に展望デッキの建設を実施、32年度は、地蔵広場の建設工事、図書ギャラリーの建設工事、飲食等店舗の建設工事、旧堀口床屋跡地にポケットパークの整備工事、33年度は、道路を隔てた東側エリアに百年石体験施設の建設を行う予定。道路や土地が狭いので、安全対策、通行対策については十分注意し、業者にも厳しく指導しながら工事を進める。

Q インフラ維持管理に関するガイドラインの有無と今後の見通しは？

A 「草津町公共施設等総合管理計画」を基に取り組む

Q 道路、水源、下水処理場、クリーンセンターと、一斉に改修に取り組まなけ

ればならないような状況になっている。今後また数年を経て同じ状況に陥らないためにも、維持管理についてガイドラインの様なものが必要だと思うが、町として計画はあるのか、また今後の見通しは？

町長

無駄を省くためにもガイドラインは必要であると認識している。「草津町公共施設等総合管理計画」を基にこれまでの事後保全だけでなく、予防保全の考え方を取り入れ、計画的な保全を行っていく。

橋梁については「草津町橋梁長寿命化修繕計画」、トンネルについては「草津町トンネル長寿命化修繕計画」が策定されており、計画に基づいて点検・修繕等を実施していく。道路舗装面については、冬期間の除雪作業により耐用年数到達前の修繕が必要な箇所もある。路面の劣化等の点検は、国土交通省が定める規定、要領を参考に実施していく。昨年度から、上水道・簡易水道施設のアセットマネジメントや、国から要請のある経営戦略・水道基本計画の策定中であり、今後は

水道ビジョンの策定を予定している。これらの計画の中で維持管理や施設の更新・整備等の具体的な方策を盛り込んで、安全で安心な水の供給が継続できる様、推進していく。

下水道事業については、H27年度から処理場の再構築に向け事業を推進している。H31年度からは第1期工事の開始となるが、既存の施設も使用していかなくはならない。機能保全に重点を置き、効率的で効果的な維持管理を行い、強靱で持続可能なライフラインの確保を行っていく。

温泉・温水については、管、機械、電気など耐用年数により減価償却費を積み立てて、計画的に更新工事を行っており、今後も行っていく。

クリーンセンターについては、群馬県の一般廃棄物処理マスタープランにより、今後の人口減少とリサイクル等の推進によるごみの減量が進むと予想され、広域化に向けた協議を進めている。本年度中に建設候補地を決定し、来年度から施設整備に向けて作業に移

る予定。現在、既存の施設を整備し、維持管理を行いながら新施設の完成を目指している。

Q 雇用・移住支援に対する町の考えは？

A 県や周辺町村と連携していく

Q スキー場縮小に伴い、大勢の雇用が失われた。一方で、他業界からは人手不足という声も聞こえている。就業斡旋や、職業訓練等、町として支援する計画はあるのか？また草津町に帰ってきたいと考えている若者や、移住希望者等について、同じく町として支援する計画はあるのか？

町長

町村単位での取組は難しい。仕事がないが、生活の基盤は成り立っている、仕事があれば人が集まるのかといえ、必ずしもそうではない。全国的に共通の課題である。ホテルや旅館といった事業所では、外国から来た就労者も多く、昨年の国会で法改正

が行われた外国人労働者受け入れ拡大を目指す出入国管理法の問題についても、身近な問題である。

主要施策の一つである「子育て支援」は、町内在住の方に対する施策ではあるが、草津町での生活を考えている方に対して、有利な条件となっている。そうした面からも子育て支援事業に対するご理解をいただきたい。

雇用の問題については、雇う側、雇われる側の両方の立場から考え、環境整備を図っていく必要がある。県や周辺町村と連携しながら、解決の糸口を探していきたい。



議案はそれぞれの担当委員会において詳細な審議が行われた後、最終日の本会議で議決されました。

- 総 は総務観光常任委員会 温 は温泉温水対策特別委員会
民 は民教土木常任委員会 災 は災害総合対策特別委員会



平成30年度 3月補正予算（一般会計・特別会計）

会 計 名	補 正 額	主 な 内 容 (歳 出)		補 正 後 額
○議案第10号 一般会計（第6次） 総 民	+ 1億2,354万円	草津よいとこ元気基金積立金	+ 2億2,500万円	53億8,077万円
		都市計画総務費（地蔵地区整備等）	- 8,590万円	
		財政調整基金 町費積立分	+ 4,000万円	
		耐震診断義務付建築物補助金	- 3,397万円	
		庁舎等施設維持整備事業	- 2,661万円	
		公共施設整備基金 町費積立分	+ 1,573万円	
		道路除雪事業	+ 1,000万円	
		学校エアコン設置工事費	+ 1,000万円	
○議案第11号 介護保険特別会計 （第3次） 民	- 3,568万円	保険給付費	- 2,724万円	6億2,262万円
		地域支援事業費	- 843万円	
○議案第12号 後期高齢者医療特別 会計（第2次） 民	+ 4万円	検診検査料	+ 4万円	1億1,330万円
		（歳入）後期高齢者医療広域連合受託金	+ 4万円	
○議案第13号 公共下水道事業特別 会計（第2次） 民	- 600万円	維持管理費 委託料	- 502万円	3億2,807万円
		維持管理費 公課費	- 300万円	
○議案第14号 前口簡易水道事業特 別会計（第2次） 民	- 18万円	前口簡易水道維持管理事業	- 18万円	581万円
		（歳入）水道使用料	- 18万円	

平成30年度 3月補正予算（事業会計）

会 計 名	補 正 額			補 正 後 額
○議案第15号 水道事業会計（第2次） 民	収益的	収 入	- 228万円	2億5,538万円
		支 出	- 105万円	2億3,310万円
	資本的	支 出	+ 180万円	1億9,441万円
○議案第16号 温泉温水供給事業会計 （第2次） 温	収益的	収 入	- 2,439万円	4億6,892万円
		支 出	- 69万円	4億3,779万円
	資本的	収 入	+ 1億2,252万円	1億5,214万円
		支 出	- 2,000万円	2億 876万円
○議案第17号 千客万来事業会計 （第2次） 災	収益的	収 入	- 2,668万円	3億 837万円
		支 出	- 2,194万円	2億 180万円
	資本的	支 出	+ 522万円	2億4,612万円

#

総務観光常任委員会

【付託議案】

第1号 H31一般会計予算

Q 森林環境税とは？

A H36年度から全国民に課される森林環境税を財源に、私有林の保護活動費を前倒しで交付するもの。人口・私有林の面積等に応じての交付額。県産木材を使って建物を建てた場合も交付対象。活用したい。



Q 群馬県移住支援金事業とは？

A 東京23区に在住で5年在勤している人が対象。一世帯100万円から60万円の拠出。国1/2、県・町で1/2の負担。現在の応募は県244名、当町3名。

Q 環境性能割とは？

A 自動車取得税廃止後の税。燃費によって1〜3%の

割合。当面は軽減措置。町内の面積から算定する。

Q コミュニティ助成事業補助金、3枠とのことだが。

A 各行政区において1件、自治総合センターにおける消防防災に係るもので2件を予定。

Q 入湯税減額の根拠は？

A 申告が減っている。10月は約2000万円減だが、11月1月は1ポイント増。補正を見込んでおり大きな誤差は出ない。入湯税は観光の大きな基盤。厳しい国税とは違い、町単独の計算。

Q 地方交付税1億1000万円増の根拠は？

A 財政指数を技術的に下げた。

Q 機械器具3300万円の内訳は。

A Windows 10への移行に伴うパソコン127台の入れ替え、ネットワーク機器含む。耐用年数5年。

Q 今後のサスパチャレンジヤーズの考え方は？

A 助成はしたいが支出方法はリセットして考えたい。

陳情1 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書

趣旨採択

慎重審議の結果趣旨採択とし、意見書は提出しないこととなりました。

陳情11【継続】「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する陳情書

趣旨採択

慎重審議の結果趣旨採択とし、意見書は提出しないこととなりました。

【付託議案外】

◆地蔵再整備事業について

当局より、H31年度に予定されていたボケットパーク整備と地蔵高台広場造成工事をH32年度に振り替えるとの報告がありました。

◆名誉町民について

H30年6月定例会で趣旨採択とされた「コンウオール・リー女史を草津町名誉町民に推挙する陳情」について、リー女史を顕彰するモニュメント等の設置について委員の間で意見が交わされました。

民教土木常任委員会

【付託議案】

第1号 H31一般会計予算

Q 子育てワンストップサービスとは？内容を詳しく。

A マイナンバーを利用し、ネット上の「マイナポータル」で保育園の入所等の届出を一括で行える。県内で同様のシステムを持つのは前橋市のみ。31年度から県が作るペーじに参加する形で草津の人にも利用できるようにする。

Q 子ども子育て計画第2期、概要の説明を。

A 第1期計画がH31年度で終了するため、今後3年分についてニーズ調査・アンケート調査を行い事業計画の策定を進める。

Q 成人風しん予防事業の対象人数は？対象者への告知方法？

A 39歳から59歳の男性が対象で394名。対象者には個別に通知を出す予定。

Q プレミアム付き商品券、対象者は？

A 国の政策で詳細は未定。対象は住民税が非課税の世帯と0〜2歳の子を持つ親。3歳以上は保育無料化の恩恵を受けているとの見解。

Q 草津に歩みし百人のプレイト増設。対象者の選定方法・選定基準は？

A 20名程で、全ての柵を埋めるのではなく多少の余地を残す。今回は選定委員会を作ったが、今回は候補を挙げた上で委員会を設置する予定。草津を訪れた記録のある物故者が対象。



『草津に歩みし百人』（湯畑）

Q クリーンセンターの吾妻一元化の計画。何年ぐらいで移転の構想か？

A 6か町村の首長間で協議中。長野原町与喜屋か東吾妻町大柏木に候補地は絞られてきた。当初し尿処理場も併設との構想だったが、切り離して早く決めるよう頼んでいる。

Q 長野原・東吾妻いずれでも草津からの搬出が課題となるが。

A 距離による損得がないようにしたい。昨年夏の事故後には、草津から成田市まで搬出するテストを行った。切羽詰まった状況。

Q 西吾妻福祉病院の分娩中止。困る方も出ているが現状説明を。

A 麻酔科医の退職や助産師の派遣打ち切りで追加が難しい。分娩予定だった方は県内外の病院にお願いしているが他病院も厳しい状況。緊急時は救急搬送できるよう消防とも連携を図る。

Q 児童室、今年の長い連休に対応できるか？

A 日曜休みで土曜・祝日は開設する。現在4年生まで74名の児童が利用中。対象学年

引上げの要望もあるが規模的に難しい。働く父母のためGWも開設する。

Q 清掃総務費に2億円、10年で20億円の計算になり予算に占める割合は大きい。広域化で負担減が図れる。町長に頑張ってもらいたい。

A 燃やすのでなく圧縮して発電する技術も検討したが、導入された自治体を視察し火災発生などの状況を聞き、作らない方がよいと判断した。広域化は場所が決まっても稼働開始まで6、7年かかる。

Q 図書館の毎年の補充数は？ 購入図書を選定は誰が行っている？

A 教育委員会内の司書が町民の要望を受けて発注し、その情報を共有している。



第2号 H31国民健康保険特別会計予算

Q 県に委ねられた結果増額とのこと。どの程度？

A 保険税相当額と同じ。草津町で事業実施を継続したとしても同程度かかる。町内の医療機関利用による経費が伸びており、県全体でも医療費は増加傾向。

Q 累積滞納額の処理は？

A 引き続き町が徴収する。延滞金だけの人も含めると約8000万円。

Q 回収の方法は？

A 県外出張も行い、状況により預貯金・給与の差し押さえや夜間徴収(町内)も実施。とはいえ相手の生活もあり、少しずつでも継続的に納付を求めている。

Q 基金の残高は？

A 今年度末で5100万円くらい。

第3号 H31介護保険特別会計予算

Q 施設介護サービス費が増加しているが内容は？

A からまつ荘の人数増や各人の要介護度アップなど。認定の協議体の委員はこれまで無償だったが多少の報酬はあるべきとの判断に至った。委員は現在8名。

第10号 H30一般会計補正予算(第6次)

Q 道路除雪費。1000万円増額補正だが？

A 例年1月時点で3月議会に補正計上している。その後の積雪が少なく、今後減額補正とする見込み。

Q 柔道スポーツ少年団で事故があったとのこと。治療費など計上してあるのか？

A 町の行事でなくスポーツ少年団として実施したもので、町が補償する性質のものではない。保険料を町費で負担しており、その保険金に関する手続きは教育委員会で行っている。

Q 教育委員への報告が遅かったと聞いたが？

A 事故の3日後に教育委員会事務局から各教育委員に電話報告し、その後の定例会議にて詳細を報告した。

第13号 H30公共下水道事業特別会計補正予算(第2次)

Q 費用がかなり節約できているが、どのような方法で？

A 週に2回派遣してもらっている技術者の指導が薬品・動力の節約に貢献している。

【付託議案外】

◆その他(質問・要望事項)

Q 福祉バスについて。いろいろ要望を聞いているが利用している人・していない人を含めて、アンケートを実施する考えは？

A アンケートも一案。その場合は報告が必要となる。停留所増の要望が多いが、停留所を増やすと時間を要し便数減につながってしまう面も。

温泉温水対策特別委員会

【付託議案】

第8号 H31温泉温水供給事業会計予算

Q 温泉資料館の収益は？

A 湯の花の販売収益。1パック1400円で販売しており、湯畑で2ヶ月に1回採取している。

Q 青葉鉱泉導水管工事が予定されているが、青葉鉱泉は利用されているのか？

A 青葉鉱泉の泉質は酸性で低温。現在は温泉配管に溜まった湯花の清掃に利用中。

Q 温泉図書館の利用状況は？

A 利用者は以前の2.5倍。利用者層は観光客と、そこで勉強する子どもたちが増えている。



第16号 H30温泉温水供給事業会計補正予算(第2次)

Q 温泉温水の使用料が減っている要因は？

A 主な原因として、工事中の大きな施設が数件あり、温泉温水の供給を休止しているため。

【付託議案外】

◆その他(質問・要望事項)

Q 別府市鉄輪温泉の地獄蒸しの蒸気が少なくなったのは、温泉熱発電(バイナリー発電)が原因では？

A 別府市では民間企業が温泉熱発電を行っており、市はソフト面で協力している。現在調査中であり原因究明には至っておらず、今後も発電が影響しているのか、動向を注視していく。

災害総合対策特別委員会

【付託議案】

第9号 H31千客万来事業会計予算

Q ロープウェイ等、滅失した資産の減価償却費は？

A 建物以外は昨年度全て減価償却費として減損した。

Q 滅失したスキー場の賃借料の詳細は？

A 噴火により閉鎖されたスキー場エリアの地代として48万6000円の減額。場所については山麓駅から清水沢、振子沢を通り、本白根ゲレンデ。

第17号 H30千客万来事業会計補正予算(第2次)

◆施設使用料全体の予算額の増減について

当初1億円を修繕費として使用料に案分して減額したが、事業が6000万円程で推移したため、差額の4000万円が使用料として入り、その分が増額となった。

◆千客万来会計から観光公社への貸付金について

千客万来事業会計より観光公社への貸付金3000万円については5年返済でシミュレーションしている。

◆耐震調査委託料の減額等について

天狗山レストハウスの耐震診断を委託する予定だったが、噴火という緊急事態が発生し、先送りとした。いずれ実施する予定。

第23号 町営スキー場等の管理及び利用料条例の一部改正

◆ジップラインのランニングコストなどについて

動力はほとんどかからない。ワイヤー等消耗品の交換程度。ランニングコストについては、電気料が約11万円、消耗品の交換経費で約40万円を見込んでいる。

【付託議案外】

◆草津温泉スキー場視察と観光公社との意見交換会

2月14日、委員8名と議長の計9名でスキー場の現地視察を実施し、観光公社社長はじめ各課長との意見交換会を行った。委員から大勢のお客様が訪れている理由について質問があり、公社当局も理由をつかめていないとのこととで、アンケート調査等実施し、入り込みが多い理由を分析するよう要望した。レンタルスキーの売上が最も良いとの事だが、用具が古くイメージも良くないため新しくするよう要請し、またスキー、ボード以外でも楽しめるアトラクションの設置など知恵を絞って事業展開するよう要望した。

◆その他

町長より草津温泉スキー場の新たな目玉であるジップラインの工事の進捗状況及び、4月27日開業に向けての説明があった。また志賀草津高原ルート開通に向けた取り組みの状況について、気象庁、学者、県など関係者との話し合いが行われ、4月の開通に向け努力を続けているとの報告があった。

請願・陳情は、町政などについて、皆さんが直接町議会に要望ができる制度です。

- 町議会に対する請願書の提出には、紹介議員が必要です。
- 陳情は、請願とほぼ同じ扱いですが、議員の紹介なしで提出できます。
- 採択となった請願・陳情について、執行機関は実行の義務はありませんが、議会の意思として十分に尊重されています。

請願・陳情の書き方

次の事項の記載をお願いします。

(決まった書式はありません)

- ① 請願(陳情)の表題・趣旨・理由
- ② 提出年月日
- ③ 請願(陳情)者の住所・氏名・印
- ④ 請願の場合は、紹介議員の署名
(または記名押印)
- ⑤ 連名の場合は代表者を記入し、名簿を添付する。
- ⑥ あて先…草津町議会議長

《請願書の書式例》

令和 年 月 日
草津町議会議長 様
請願者 住所
氏名 印
(ほか○名)
紹介議員(署名または記名押印)
〇〇〇〇に関する請願書
請願の趣旨
請願の理由

《陳情書の書式例》

令和 年 月 日
草津町議会議長 様
陳情者 住所
氏名 印
(ほか○名)
〇〇〇〇に関する陳情書
陳情の趣旨
陳情の理由

益々のご活躍を祈念いたします。



議員在職15年
黒岩 卓 議員



議員在職27年
宮崎 公雄 議員

群馬県町村議会議長会表彰

議案第1号 H31一般会計予算



上坂国由 議員

問

- ① 職員の心の健康づくり健診とは。
② 今後の職員人事採用と人件費削減の考えは。

答

- ① ストレスチェックと訪問カウンセリングを行っている。
② 定年退職が多いので人件費は相対的に減っている。バランスのとれた人員確保を行っている。

総務課長

① 事業所において年間1回のストレスチェックを行うことが義務付けられている。また、毎月1回希望する職員に対して訪問カウンセリングを行っている。

② 人件費減は定年退職が多いので新規採用を入れても相対的に減になる。

町長 ① 心の病やストレスを大変心配している。具体的に職場の異動、配置を行ってきたが難しい面もある。町長として責任を持ち職員を守っていききたい。

② 新年度も職員採用をするが、今後もバランスのとれた人員確保に努めたい。

Q ① 心の健康づくりのカウンセリング希望者数は。

総務課長 ① 現在まで希望者はいない。



山田英器 議員

問

西吾妻福祉病院で分娩が出来なくなったが、町長の考えは。

答

大変不本意である。

Q 西吾妻福祉病院で分娩ができなくなった。里帰り出産ができない現

状を町長はどう考えているか。

町長 大変不本意である。一番の問題は産婦人科医がいらない。県全体でも100人程度しかいない。

病院設立の時の約束と違う。対応策を強く求めてきたが、結果としてこうなってしまった。

住民課長 県中央部に医師が集中して足りない現状である。

県でも対応策を検討しており、近隣の長野県を含め協力依頼をしている。

しかし、草津町からこの病院へ行くにしても1時間を超える時間がかかるので、県に対しても早急な対応をお願いした。

現在は渋川市や沼田市に行かれている方が多い。上田市や佐久市に行かれている方もいる。



西吾妻福祉病院

問

都市計画整備事業の内容は。

答

地蔵地区の整備工事と湯畑・西の河原の整備工事。

Q 都市計画費の工事請負費、都市計画整備事業の内容を説明してほしい。

愛町部長

国庫補助事業で地蔵の湯裏側の高台への階段設置と造成工事、湯畑から旧一田屋さんへ登っていく階段の融雪工事と展望デッキの設置など。

町単独事業で湯路広場の石段の段差改修工事、西の河原の町道（遊歩道）の路面・路盤改修工事を予定している。



地蔵地区整備イメージ



金丸勝利 議員



宮崎公雄 議員

問

① ザスパ草津の関連経費、これだけでやっていけるのか。
② クリーンセンターの事業用建設事業の内容は。

答

① 一度リセットして考え直したい。
② 焼却施設老朽化に伴う改修工事費。

Q ① ザスパ草津サテライトチームへの予算、この金額でやっていけるのかどうか。今後どのようにもっていくのか。考え方は。

② クリーンセンターの事業用建設町単独事業（建物）の内容は。

町長 ① 今後は一度リセットして原点に戻って、ザスパをどうやって支援するか新たにスタートさせたい。

J3に下がったため、ザスパ本体からチャレンジャーズへの支援金は、その余裕がないという話が来ている。今後可能な限りチャレンジャーズのサポートを主体に取り組んでいきたい。

生活環境課長

② 焼却施設の老朽化に伴う維持整備で、ダイオキシン対策、コンベアー修理、空気圧縮機等の改修工事を予定している。



28年が経過したクリーンセンター

Q ② 現在、郡内には草津を含め3つの焼却施設があるが、6か町村で施設の共同設置に向けて協議をしている進捗状況は。

町長

② 町村会では1つに統合していく意思決定はしている。

候補地として、長野原町の与喜屋と東吾妻町の大柏木の2か所に絞られてきた。専門家の分析結果では大柏木という判断が出てきたが、各町村間の本音と建て前が出てなかなか

進まないの、東吾妻町と長野原町の町長で会談をして腹をくくってほしいとお願いをした。
時間はかかるが一日も早く建設に向けて努力したい。

Q ② 草津町のゴミの分別は現在3種類しかない。今後に向けて細かい分別のお願いや指導を行政が積極的に行ってほしい。

町長

② 分別が一番厳しいところには草津町が合せていかななくてはならない。強い決意で臨みたい。



分別されていないゴミステーション

問

ゴミの分別の基礎教育の必要性は。

答

決意を持ってやっていかなくてはならない。

Q 姉妹都市のあるドイツではゴミの分別を大変厳しく行っている。ホームステイで行く中学生にドイツの分別状況を見てもらい、帰国後、各家庭から分別の普及をしてもらう基礎教育も必要ではないか。

町長

色々な意見を参考にしながら、決意を持って仕組みづくりに取り組んでやっていかなくてはならない。



宮崎 謹一 議員

湯本晃久 議員

問

旅館・ホテルの耐震対策の今後の見通しは。

答

今後順次実施されていく見通しである。

Q 旅館・ホテルの耐震の関係は31年度大幅な減額、補正予算でも減額だが、今後の見通しは。

町長

草津町では6棟が対象で各事業所がやっていかなければならないが大きな予算が必要である。

あるホテルは町に申請を出したが、本白根山の噴火で中止となった。町は想定して予算を組んでおくが、経済が不透明な中、出来ない場合は減額する。これが繰り返される。

土木課長

草津町では6施設が対象で、事業として耐震の診断と設計そして改修をしなければならぬ。

診断については6施設すべて終了している。設計については現在2施設が完了しており、30年度で残り4施設が行う予定であったが、事情により1施設が取りやめ、3施設が31年度に繰越しとなった。最終的な改修は現在1施設も実施

していないが、31年度に1施設が一部のみ実施する予定。



議案第7号 H31水道会計予算

問

水源調査委託の内容は。

答

水源確保のボーリング調査を行う。

湯本晃久 議員

Q 水源調査業務委託は、委員会で水源のボーリング調査を行うという話であったが、詳細な内容を聞いた。



←新しくなった水管橋

上下水道課長

現在草津の水は大変リスクの高いところから導水しており、維持管理に苦慮している。今年度作成した水道基本計画の一環で各水源の調査を実施する。今回は天狗山周辺と第9水源の調査を行う。ボーリング調査を行い流量増を図りたい。

議案第10号 H30一般会計補正予算

山田英器 議員

問

スポーツ少年団の事故対応は。

答

連絡が少し遅れてしまった。

Q 先日、スポーツ少年団の柔道で子供が倒れた事故、その時教育委員に報告が遅れたと聞いたが、教育委員会の対応はどうだったのか。

教育委員会事務局長

事故が起きたのが1月6日夜で、教育委員会は7日に把握したが情報収集に手間取り、少し遅れて10日に教育委員に連絡した。

その後1月22日の教育委員会定例会で経過を説明した。

要望

教育委員も子供の事故等に敏感なので、今後はこまめに情報を流していただきたい。

平成31年度
(令和元年度)

一般会計当初予算

賛成討論

中澤広夫 議員

一般会計の総額45億1千2百53万9千円、前年比79%で若干の減額となったものの、ほぼ前年並みの編成となり安堵している。これは心配された昨年の本白根山噴火以来の風評被害の影響を最小限に留められた結果であり、亡くなられた伊澤自衛官、また被災された方々へのお見舞いを申し上げると共に、努力されてきた行政、業界の皆様には大変感謝申し上げる。

本会議初日に町長から施政方針、予算編成の説明があった。本年度は2つの主

要事業を示して頂いた。

1つ目は地蔵地区再整備。これは湯畑再整備が一段落した後、さらに草津温泉の新たな魅力、奥行きの深さを発掘し発信していく主要事業で、草津温泉の湯治や湯治文化に光を当てた新しい観光開発として期待される。またこの事業の資金源は主にふるさと納税の寄附金を活用するという点で、大変有意義な資金活用法であると思われる。草津温泉に納税して頂いた方には大変感謝している。旅行業界からも、いつも変化のある草津温泉に期待感が集まっているようである。

2つ目は継続事業でもあるが、道路関連整備に引き続き注力し、併せて水道管、温泉・温水管も改修を行っていくとのこと。インフラの基本である道路・水道・温水・温泉がしっかりしていないと全てが崩れてしまうので、予算はかかるが未来を見据えると最優

先事項と思われる。また、

ごみ焼却場の広域化はまだ時間がかかるようだが、下水処理場の更新は本年度から本格的に着工に入り、大きな町債も計上されているが、町長をはじめとする行政は過去に積み上げた基金等の充実ぶりから、財政的にも自信を示されている。

社会福祉関係も子育て支援、小中学校の教育相談の充実、高齢者に対する特殊詐欺防止電話設置、障害者へのタクシー券など、限られた予算内で努力された編成となっている。

このように、全体的に見ても町長の福祉と観光の町づくりの目標にかなった予算編成である。これらの予算をさらに細部にわたり行き届いたハンドリングをして頂き、より効果のある行政の実現を要望し、平成31年度一般会計予算に対する賛成討論とする。



～みなさんからの請願書・陳情書はつぎのとおりとなりました。～

件 名	要 旨	請願・陳情者	付託委員会	審査結果
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書の提出を求める陳情書	日米地位協定の考え方に日本全国どこにでも米軍基地が出来る可能性があることになっている。全国知事会では2018年7月にとっても意味のある「米軍基地負担に関する提言」を発表した。この提言が実現できるように、国に意見書を提出してください。	日米地位協定を見直す会 共同代表 難波 希美子	総務観光 常任委員会	趣旨採択
「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する陳情書(継続案件)	地方公務員法及び地方自治法の改正により、公務で働く臨時・非常勤職員の待遇は低く、不安定な状態に置かれているため、身分の安定、地位の向上をはかるため国に対し意見書を提出してください。	群馬県自治体一般労働組合 執行委員長 宮内 政己	総務観光 常任委員会	趣旨採択

一般質問

Q 西吾妻福祉病院の産婦人科現状と今後は？

町長…早期改善を各方面に働きかけている

Q 昨年12月の新聞にて、「西吾妻福祉病院が今年4月以降、産婦人科の出産の取り扱いを休止し、産後の外来診療の診察のみ継続」との衝撃的な報道があった。実際には既に年明け以降、分娩の受け入れができていないと聞く。この事態は結婚・出産を控える若い世代にとり大きな負担増、そして不安要素であり、草津町の人口減少に直結する深刻な事態を招くのでは、と懸念する。

救急診療や在宅介護への手



湯本晃久 議員

財政措置を講じることはお考えか。

町長

ご指摘の報道は事実。

先の国会で医師法・医療法の改正が行われ、31年度から県が中心となり、医師確保計画を定めることが決まりましたが、その調査結果が今回の新聞報道でもある。大変不本意であるが、やむを得ないと判断するところもあり、早期改善を各方面に働きかけている。

① 一昨年、西吾妻福祉病院のあり方検討委員会で示された報告書にて、産科医療は継続するが状況により休止もあり得るとの報告がなされたが、継続をお願いし、4か町村での支援を取り決めた。しかし31年度からの病院の管理運営の協定にかかる協議で、麻酔科の医師不在により分娩時の緊急帝王切開対応ができないこと、また派遣助産師の期間満了で今後派遣が見込めないことなどが報告された。さらに産婦人科医も常勤医が一人で当直も多く、疲弊による医療過誤の懸念もされ、安

全・安心な分娩提供体制が見込めない状況となった。このため「妊婦健診は身近な西吾妻福祉病院で受診して頂き、分娩は体制の整った連携病院に行つて頂く」との方針が示された。大変不本意であり強く再開を望む。

② 結論としては早急な好転は見込めない。再開が簡単でないことをご了承頂きたい。吾妻圏域の医師の充足率は県内最下位で、群馬県も全国で35位と医師不足地域である中、前橋圏域の充足率は全国で6番目と県の中央に集中している。この傾向は看護師、助産師等も同様で、西吾妻圏域の医療機関は人材の確保に苦慮している。県内の産婦人科医も100名程度しかおらず、県全体で周産期医療の見直しが必要な時期にきていること

も要因。元々少ない人材が県央に集中し、郡部に来られないという現実が大きなネック。仮に分娩業務を継続したとしても医師一人に負担が集中し、医療過誤の恐れや、最悪の場合は疲弊による退職で妊婦健診すら受けられない事

態も想定される。周産期・小児医療の受診に要する移動時間は県内平均では約30分だが、草津からは最寄りの病院でも1時間を優に超える。この環境は安全・安心な医療体制とは言い難く、県にも強く改善を求めている。

③ 報道では分娩休止は31年度からだだが実際には12月より産科医師の疾病に伴い分娩不能の状況になり、急遽年度内の分娩予定者の対応を行っている。病院では出産場所近くのホテル等に滞在した場合の宿泊費助成を実施しているが、利用者がいないのが現状。同様の支援を中之条町・東吾妻町でも実施しているが利用に結びついていない。第一には、救急搬送を視野に迅速に分娩予定病院への搬送ができるよう、消防との連携を強化し、その他の支援については県と共同で吾妻地域全体で同じ支援ができるよう、きめ細かい支援の構築に努めた

一般質問

Q 外国人就労者のサポート体制 行政としての考えは？

町長…先進事例を参考に草津町に 相応しい体制を検討

Q 昨年度1月23日の本白根山噴火から一年余りが経ち、ようやく経済的にも回復基調になってきたと実感している。努力されてきた行政、業界の皆様には大変感謝する。

また経済回復とともに再びクローズアップされてくるのは人材、人手不足の問題である。行政、業界ともに人材確保に取り組んでいるところだが、なかなか厳しい状況にある。このようなことから、必然的に外国人の就労者や外国



中澤広夫 議員

人技能実習生を採用しているところと動きが本格化している。ただしこの外国人技能実習制度というのは、海外に技能を移管する目的の制度で人手不足とは趣旨が異なるが、結果的にはこの数は増加傾向にある。また本年4月よりこの外国人技能実習生の職種の拡大、在留年数の延長など外国人の研修や雇用の規制緩和が行われる予定になっている。このことから、外国人就労者の増加傾向はさらに強まるようである。

平成30年12月の上毛新聞によると、当町の外国人住民の比率は3.5%で、県内市町村中第6位（2017年末時点）となっている。遠く海外からやってきて慣れない文化

の中で生活していくことはかなり不安で孤独感もあるという話も外国の方から伺っている。こういった状況から、外国人のための相談窓口設置や、孤独解消のための外国人同士のコミュニティづくりなど、行政、観光協会のほうで取り組んでいる部分もあると思うが、町民の皆様との共存という観点から一歩踏み込んだ取り組みを行っていく必要があると思うが、行政としてはいかがお考えか。



町長 日本全体で人口の減少が続く、また少子高齢化も解消されず、全国的に国内の就労人口が急激に減ってきている。加えて景気の拡大傾向が続く、国内の働き手不足が深刻な状態となる中、国においては出入国管理法の改正を行い、外国人労働者の受け入れ拡大の方針を打ち出している。ただし外国人労働者の受け入れ問題については肯定的ではない意見も多く、国民の総意として受け入れ拡大の方向が支持されている状態でないのが実態。技能実習生

制度は外国人労働者とは違う制度だが、草津町に生活の基点を置き、日々の暮らしを行うという点では何ら違いがない。町としては一人の住民として接し、様々な面において県や周辺町村と連携し、生活のサポートを行っている。しかし文化や生活習慣の違いなどから孤立したり、相談相手を見つけれずに悩んでいたりすることもあるかと思うので、どのようなサポート体制を組むべきか、検証、判断をしていきたい。ただしそういう場を設けたとしても、それが活用されないと、町にとっても外国からの就労者にとっても、双方に不利益な結果になりかねない。雇用されている事業所の理解と協力がやはり一番重要なポイントとなるのではないかと思う。

当町でふえている技能実習生は6カ月の在留資格で、各事業所において研修を行っているようだが、今回の法改正による外国人労働者の受け入れ拡大においては、一定の専門性、技能のある労働者に対して、受け入れ機関が支援計

画を策定し、法令遵守を義務づける内容となっており、宿泊業等も対象となるようだ。

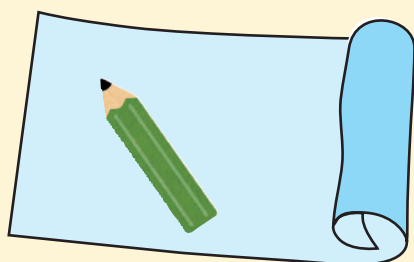
行政においても、各種制度の周知について多言語に対応するリーフレット等を作成し、窓口において各種相談に対応しているが、今後においても、想定される特定技能外国人就労者に対しても、日本語能力が一定以上必要とされているが、制度周知については引き続ききめ細やかに対応していきたいと思っている。

あわせて東毛地区などの先進事例も参考に、草津町にふさわしい形の体制について検討していきたい。なお中島団地の中に最近、外国人の居住者が結構ふえている。町民から外国人が入れるかという話があったが、合法的に受け入れが可能だということ、かなりの人が中島団地に入居するようになってきた。そういう意味では改善されてきていると思っている。

忙中感記

○次号よりこの裏表紙では、議会や議員をより身近に感じて頂けるよう、議員が日々感じていることなどを順番に自由に書く「忙中感記」の掲載を再びスタートします！ぜひご覧ください。

新しい広報委員会の構成が決まりました！



委員長 市川 祥史

副委員長 湯本 晃久

委員 安井 尚弘

委員 有坂 太宏

分かりやすく正確に伝わる議会広報誌を目指して頑張っています。よろしくお願い致します。

議会内容をインターネットで見られます

議場へ傍聴にお越しになれない多くの町民の皆さんに議会で話し合われている内容を、インターネットを通しご自宅でご覧いただけるようになりました。



視聴方法

(下記のいずれかの方法でご覧ください)

○草津町議会本会議中継録画配信ホームページ
(<https://www.kusatsumachi-gikai.jp/>)

○草津町役場ホームページ
(<https://www.town.kusatsu.gunma.jp/>)
のトップページから
「草津町議会」→「本会議中継録画配信」

○インターネット検索
「草津町議会」で検索

草津町議会本会議 中継録画配信

平成31年第1回 定例会 (平成31年3月4日～3月12日)

平成31年第1回 草津町議会定例会 表彰伝達、開会、...

トップページ

草津町役場 公式サイト

行政と町民の調和 (ハーモニー) 草津町議会だより

日付	内容	時間
本会議 3月4日(月)	●表彰伝達、開会、会期決定、議報告、施政方針説明	1:07:21
	●議案上程、議案第1号～議案第9号(平成31年度当初予算)	35:13
	●議案上程、議案第10号～議案第26号、当初予算総括質問(小林一議員)、議案委員会付託、議情書上程、散会	1:14:53
本会議 3月12日(火)	●閉議、付託議案委員長報告、議案第1号質疑	1:18:28
	●議案第1号質疑(続き)、討論、採決	32:49
	●議案第2号～議案第26号、採決、議情書採決、議会改革特別委員会中間報告、元議員1号～元議員4号、採決、付託外報告	50:31
	●一般質問(湯本晃久議員、中澤広夫議員)、閉会挨拶、閉会	26:34